株式会社エフエスエーの食品分析・報告

栄養成分の分析機関を選ぶポイントは？

価格、検査精度、スピード、信頼性、過去の取引…

その中で特に価格だけで、分析機関を選んでいませんか!!

分析の信頼性は、認証内容（栄養成分分析分野での認証）で大きく変わります。

非認証の場合：結果にバラつきの可能性も…？

VS

国際規格に基づいた高い信頼性、確実な分析精度

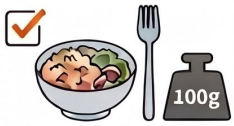
国際認証（ISO17025）取得機関による分析・報告

4つの特徴

国際的に通用する分析結果

ISO17025の認証機関による分析

1食あたりの分析値報告可能



通常は100g単位ですが、1食単位の報告も可能

迅速な結果報告

サンプル到着後、5営業で報告。（土曜日も移動）

商品への表示による信頼性向上

分析結果を商品へ表示することが可能。

食品分析の主な検査項目

エネルギーセット1

基本の栄養表示項目目をカバー！

エネルギーセット2

より詳細な栄養分析が可能！糖質・食物繊維をプラス

※他関連項目の検査も可能。

正確な信頼される分析で“売れる商品”へ。

FSA 食の安全・安心サポートカンパニー FOOD SAFETY ASSIST

食品分析・検査受託サービス

「検査結果の意味とムダ」と「次に取るべき対応」まで
一緒に考える食品検査機関です。

たくさんの企業から FSA が選ばれている 3 つの理由

1. 検査内容を「目的」から一緒に整理

2. 結果が出た後の「技術的な相談」ができる

3. 一般衛生管理・HACCP・食品安全認証と“現場目線でつながる検査”

HACCP検証関連項目

細菌検査（一般細菌・大腸菌群・食中毒菌）、
残留農薬分析・残留抗生物質、食物アレルゲン

- HACCPプラン（CCP管理表）が実際に機能しているかを、検査で客観的に確認します。
- CCP や一般衛生管理（PRP）の有効性を数値で検証し、管理基準の妥当性や改善の方向性まで含めてサポートします。
- 「検査をすること」が目的ではなく、HACCP の仕組みが機能していることを証明するための検査です。

製品特性調査項目

栄養成分分析、賞味期限設定、
重金属分析、その他理化学分析

- 栄養成分値、水分活性、pH、塩分濃度、糖度など、製品の安全性や保存性に関わる特性を客観的に把握します。
- 賞味期限設定の根拠、加熱条件の妥当性確認、製品設計や品質安定化のための基礎データとして活用できます。
- 単なる数値測定ではなく、製品の安全設計と品質管理を支えるための検査です。

異物・クレーム関連項目

異物検査・官能検査
衛生管理不十分項目

- 異物混入や品質クレームが発生した際、原因究明と再発防止のための検査を行います。
- 異物の特定だけでなく、発生要因の整理や管理体制上の課題を技術的にサポートします。
- 単なる分析ではなく、再発防止（是正）につながる検査対応を行います。

表示・法令関連項目

栄養成分分析、アレルゲン、
遺伝子組換え、水質検査

- 栄養成分分析やアレルゲン検査など、食品表示法・関連法令に基づく検査に対応します。
- 法令適合の確認だけでなく、表示内容との整合性やリスクの有無についても確認し、安心して表示できる状態を支援します。
- 法令遵守を確かな根拠で支える検査です。

（食品安全）審査・監査対策項目

定期検証用

- 二者監査や第三者認証審査（監査）において求められる「検証の証拠」となる検査を実施します。
- HACCP・JFS・ISO などの規格要求を踏まえ、過不足のない検査設計をご提案します。
- 審査や監査対応のためだけでなく、仕組みの実効性を高める検査を行います。

トラブル対応関連項目

緊急対応検査、危機管理

- 想定外の事故や異常が発生した際の緊急検査に対応します。
- 事実確認、影響範囲の把握、出荷可否判断など、迅速かつ技術的な視点でサポートします。
- 企業の信頼を守るためのリスク評価型検査です。

食の安全・安心サポートカンパニー
株式会社 エフエスエー

エフエスエー

fsa-kensa.jp/
haccp-iso.jp/

HACCP・ISO支援センター
HACCP・ISO acquisition assisting center

株式会社エフエスエー（HACCP・ISO 支援センター）は、
JFS規格（A・B・Bplus）の監査会社として登録されています。